

# 生活科学習指導案

## 単元名 「たのしいあきいっぱい」

### 小単元名「つくろう あそぼう」

令和4年12月2日（金）第5校時 1年教室

#### ＜授業改善の視点＞

前時までの活動写真やワークシートを基に、友達と話し合いながら、おもちゃを改良したり、ルールを考えたりすることは、園児を招待して一緒に楽しく遊ぶために有効であったか。

## I 単元の構想

### 1 単元の目標（育成を目指す資質・能力）および児童の実態

	単元の目標	児童の実態（名）
<b>知識及び技能</b>	・自然物を利用して遊んだり、遊びに使うものをつくったりすることのおもしろさや、自然の不思議さ、秋の自然物を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付けるようにする。	(削除)
<b>思考力、判断力、表現力等</b>	・自然物や身の回りにあるものを利用して、試行錯誤しながら遊びに使うものを工夫してつくったり、みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えたりしながら、みんなで楽しく遊ぶことができる。	(削除)
<b>学びに向かう力、人間性等</b>	・身近な自然物を使って、遊びに使うものをつくったり遊んだりすることに関心を持ち、進んで工夫しようとしている。 ・遊びに使うものをより良くしようとしたり、遊び方を工夫したりして、みんなで楽しく遊ぼうとしている。	(削除)

## 2 評価規準

### 【知識・技能】

- ①自然物を利用して遊んだり、遊びに使うものをつくったりすることのおもしろさや、自然の不思議さ、秋の自然物を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付いている。（5）（6）

### 【思考・判断・表現】

- ①自然物や身の回りにあるものを利用して、試行錯誤しながら遊びに使うものを工夫してつくったり、みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えたりしながら、みんなで楽しく遊んでいる。（5）（6）

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ①身近な自然物を使って、遊びに使うものをつくったり遊んだりすることに関心を持ち、進んで工夫しようとしている。（5）（6）  
②遊びに使うものをより良くしようとしたり、遊び方を工夫したりして、みんなで楽しく遊ぼうとしている。（5）（6）

## 3 人権教育とのかかわり

今日、子供たちを取り巻く環境は、核家族化、少子化、高齢化などの社会現象による影響や、更に新型コロナ感染拡大防止に伴って、人との関わりが希薄化してきている。こうした環境が一因となり、適切に人と関わることが不得意な子どもが増えてきている。そこで、本単元では、友達と教え合ったり、話し合ったりしながら、みんなでおもちゃづくりに取り組んだり、園児と一緒に楽しく遊んだりする活動を通して、自分や友達の良さに気づき、これからも自分や他の人を大切にしながら関わろうとする態度を養う。

### 【育てたい能力・態度】

- 感性：園児を招待して一緒に遊ぶ活動を通して、友達と力を合わせてできた喜びや年下の子と楽しく過ごせた達成感など実感し、自分や他の人を大切にしながら関わろうとする気持ちをもつ。  
○技能：みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えながら、みんなで楽しく遊ぶことができる。

4 単元計画および指導方針（指導に生かす評価は○、評定に用いる評価は●）

時	週	学習活動	評価			指導方針・ICT活用
			知	思	主	
1	であ う	<b>単元の課題 おもちゃを作って、園児のみんなと一緒に楽しく遊ぼう。</b>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>園児と自己紹介をして交流する。</li> <li>秋の自然物を使ってどんな遊びやおもちゃができるかイメージをもつ。</li> <li>つくったおもちゃで園児と一緒に楽しく遊ぶための計画を立てる。</li> </ul>	●	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児とリモートで自己紹介をし、交流を図ることで、相手意識を持ち、意欲的に活動していけるようにする。</li> <li>昨年度の1年生と園児の交流の写真を見せることで、自分たちも園児を招待して遊びたいという意欲付けをする。</li> <li>自分がつくりたいおもちゃのイメージをもつことができるように、教師のつくったおもちゃや教科書に載っている「おもちゃずかん」などを参考にさせる。</li> </ul>	
2 3 4	はた らき かけ る	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃを工夫して作りながら遊ぶ。</li> <li>自分がつくったおもちゃを紹介し合い、改良したり、つくるおもちゃを変えたりしながら遊ぶ。</li> </ul>		①	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃの作り方にとまどっている際は、モデルを示したり、一緒に考えたり、同じおもちゃをつくっている友達を紹介したりするなどして材料や遊び方を確かめさせる。</li> <li>自分のおもちゃを改良する視点をもてるように、つくったおもちゃを見合う場（おもちゃの写真と説明入りスライドを画面に映す）を設定し、互いのおもちゃの共通点と相違点に着目させる。</li> </ul>	
5 6		<ul style="list-style-type: none"> <li>グループを作り、遊びやルールを相談したり、おもちゃを改良したり、作り足したりする。</li> </ul>		①	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんなルールがあればみんなで楽しく遊べるかを考えられるように、グループの友達と試しながら遊ぶ時間を設ける。遊び方の説明を考える時におすすめのポイントを意識させ、製作したおもちゃの写真やワークシートに記入させる。</li> </ul>	
7 8		<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いのお店のおもちゃで遊ぶ。</li> <li>よかったことやもっとやりたいことについて振り返り、ワークシートに書く。</li> </ul>	●	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>全てのお店のおもちゃで遊べるように、グループを半分に分け、招待する側と遊びに行く側を決める。</li> <li>製作したおもちゃの写真やワークシートに記入し、各グループの工夫や直したいことを共有できるようにする。</li> </ul>	
9 10	本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児がもっと楽しく遊ぶためにはどうしたらよいのか考えながら、おもちゃやルールをさらに工夫したり改良したりする。</li> <li>会の進行の仕方を確認し、おもちゃの説明をする練習をする。</li> </ul>	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>園児が楽しく遊べるかを意識できるように、具体的なポイント(簡単に、やさしくなど)を確認した上で、試したり、比べたりさせ、改良したことを写真やワークシートを使ってグループごとに紹介できるようにする。</li> </ul>	
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>園児を「おばた小あきランド」に招待し、一緒に楽しく遊ぶ。</li> </ul>		②	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児のどのような様子を見ることができれば、楽しんでもらえたことになるか実施前に確認できるようにする。</li> </ul>	
12	ふ り か え る	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、ワークシートに書く。</li> </ul>	●	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想を発表し合う中で、自分の頑張りと友達の良さに気付けるようにする。</li> <li>園児と一緒に遊んだ様子の写真を見ながら振り返り、自分や友達が遊びを作り出したことでみんなが楽しく遊ぶことができたことを称賛し成就感を味あわせ、さらなる成長への期待や意欲につなげる。</li> </ul>	

## II 本時の学習

### 1 ねらい

つくったおもちゃで実際に遊んだことを想起して、「園児のみんなに楽しんでもらう」という観点で、より楽しいお店にするための工夫を考えることができる。

### 2 人権教育の視点

- 感性：園児を招待して一緒に楽しく遊ぶために、自分たちにできることは何かをみんなで話し合うことを通して、自分や他の人を大切にしながら関わろうとする気持ちをもつ。
- 技能：みんなが楽しく遊べるように、おもちゃを改良したり、約束やルールを考えたりすることができる。

学習活動	指導上の留意点・ICT活用
<p><b>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(3分)</b>                      T：もう年長さんを招待していいかな。                      S：ダメ。もっと直すところがあるから。</p> <p><b>&lt;めあて&gt;</b>                      園児のみんなが、もっと喜んでくれるお店にするには、どうしたらよいだらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに行ってきたことを想起させ、園児が喜んでくれるために、「おもちゃ」や「遊び方のルール」のどんなところを直すといいか、グループに分かれて考えたり、つくりかえたりすることを伝える。</li> </ul>
<p><b>2 おもちゃを改善する視点を明確にする。(全体) (5分)</b>                      T：園児のみんながもっと喜んでくれるお店にするために「おもちゃ」や「遊び方のルール」のどんなところを注意するといいかな。                      S：じょうぶでこわれにくいおもちゃにする。                      S：遊び方が簡単でわかりやすい。                      S：怪我をしない安全な遊び。                      S：遊んでたのしい。</p> <p><b>3 おもちゃの改善点を考え、修正する。(グループ) (25分)</b>                      T：園児のみんなが、喜んでくれるために、どんなところを直すといいか、グループに分かれて考えたり、つくりかえたりしよう。                      S：どんぐりの人形をプレゼントして喜んでもらおう。                      S：的に入りやすいように、投げるところを近づけたり、投げる回数を増やしたりしよう。                      S：得点がわかりやすいように紙に書いて貼ろう。                      S：痛くないように、針金の先にテープを巻こう。                      S：捕りやすいように、大きな魚をたくさんつくろう。</p> <p><b>4 おもちゃを改善・修正したところをグループごとに紹介する。(全体) (7分)</b>                      S：一番最後までこまが回った子にドングリの人形をプレゼントして喜んでもらえるようにしました。                      S：松ぼっくりの玉を入れやすいように、投げるところを近づけたり、投げる回数を増やしたりしました。                      S：わかりやすいように、得点表をつくりました。                      S：怪我をしないように、針金の先にテープを貼りました。                      S：捕りやすいように、大きな魚をたくさんつくりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に話し合ったそれぞれのお店の「いいところ(おもちゃ・ルール・かざり)」「直したいところ」の板書や、前回のお店やおもちゃの写真を見られるようにしておき、改善するときのヒントになるようにする。</li> <li>・園児が楽しめるおもちゃにするための視点となるキーワードを提示する。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・じょうぶ</li> <li>・簡単</li> <li>・わかりやすい</li> <li>・安全</li> <li>・楽しい</li> </ul> </li> <li>・グループで1人1人意見を言えるよう、前時の各自記入したワークシートを参照させる。</li> <li>・園児のことを考えているかを見て回り、必要に応じて具体的な言葉を掛ける。&lt;例&gt;どこから投げるといいかな。どうすればもっと釣れるかな。</li> <li>・話し合ったことを書くためのワークシートを用意する。</li> <li>・改良したことを写真に撮ったり、ワークシートに記入したりしたものを撮影して提出させる。</li> <li>・「おもちゃ」や「遊び方のルール」を改善できたグループは、改善したことを発表する練習や、園児にわかりやすく遊び方の説明をする練習をするよう指示する。</li> <li>・話し合いや作業の様子から、児童のつぶやきなどを把握し、振り返りの場面において紹介することで、全体で共有できるようにする。</li> <li>・前回のお店やおもちゃと比較して、今回改良したことを、必要に応じて、写真を映したり、実物を見せたりしながら、グループの代表者に発表させる。その際、発表しやすいよう、「園児のみんなが～するように、～しました。」と話形を提示する。</li> </ul> <div data-bbox="821 1803 1433 2004" style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価規準】</b>  <b>【思考・判断・表現】</b>  <b>【発言・行動・ワークシート】</b>                      園児やみんなのことを考え、遊び方の約束やルールを考えている。</p> </div>

<b>5 本時の学習の振り返りをする。(5分)</b>	・本時の感想を発表し、次時への意欲や見通しをもたせる。
<p><b>&lt;振り返り&gt; (視点：気付き)</b></p> <p>T：園児のみんなのためにどこを工夫しましたか。</p> <p>S：いっぱい遊べるように、テープでしっかりと止めじょうぶにつくりました。</p> <p>S：園児のみんなが楽しんで遊べるようにわかりやすくルールをかえました。早く一緒に遊びたいです。</p> <p>S：けがをしないように、とがっているところにテープを貼りました。</p> <p>S：楽しく魚つりができるように、いろいろな魚をつくりました。</p>	

板書計画

スクリーン ・写真 ・児童の意見を投影	<b>おもちゃをつかって、えんじのみんなといっしょにたのしくあそぼう</b>
	<めあて>えんじのみんなが、もっとよるこんでくれるおみせにするには、どうしたらよいだろう。
	<b>ポイント</b> ・じょうぶ ・かんたん ・わかりやすい ・あんぜん ・たのしい
	えんじのみんなが～するように、～しました。
	<b>ふりかえり</b> ・テープでとめ、じょうぶ。あんぜん。 ・ルールをわかりやすく。 ・おもちゃをたくさん。 ・はやくあそびたい。